

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	山形県米沢市			代表者名	近藤 洋介
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	魅力推進課	連絡先電話番号	0238-22-5111
担当者役職	デジタル改革推進主査	担当者氏名	鈴木 由人	連絡先E-mail	
住所	992-8501 山形県米沢市金池五丁目2-25				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名	デジタル人材育成		
概要	DX意識の醸成に向け、幹部向け研修と一般職向け研修を実施したい。				
支援を求める分野	人材(DX推進のための機運の醸成) 人材(DXに関する知識習得・研修・育成)				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和7年7月28日	支援・助言&講演(実地)	10時30分	17時00分	
			活動時間(分)	390	
2-2. 派遣場所	会場名	米沢市役所		最寄駅	米沢駅
	所在地	山形県米沢市金池五丁目2-25		最寄駅からの交通手段	公用車で送迎いたします。

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	廣川 聡美
評価	大変良い
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	本市ではDXに関して「デジタル化やシステム化が目的化するのではないか?」「業務主管課にはDXに対する当事者意識がないのではないか?」という問題意識を持っていたが、講師からは、繰り返し「DXは業務改革をきっかけとした自治体の経営改革であること。デジタルツールの活用は手段でしかないこと」「改革の中心は、業務を所管する現場であること」「現場の一般職員が、最も課題を把握していること」を説明いただいた。単なる事例紹介ではなく、「組織文化・風土の刷新をどのように行っていくか」を主眼とした内容であり、当市のニーズにマッチした非常に有意義なものであった。
アドバイザーへの要望事項	なし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	93人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	93			

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	変化を好まない組織風土によるものなのか、業務改革に対する意識が低い。首長からは、DXを進めるようにとの指示があり、今年度より担当部署が明確にされているところであるが、このまま進めてもデジタル化やシステム化が目的化してしまい、本来の目的である「住民サービスの向上」や「住民福祉の増進」を見失うのではないかと危惧している。また、業務主管課にはDXに対する当事者意識がないことも問題と考えている。
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	全職員共通：DXの本質は業務改革であることの気づき 改革の主たる担い手は各事業原課であることの気づき 幹部職員：組織文化・風土の刷新が必要であることの気づき 一般職員：「自分に関係ない」と考えるのは間違いであることの気づき

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	一般職員向けと幹部職員向けに、次の内容で講演をいただいた。 なお、一般職員向けの際はslidoを活用して講師への匿名での質問を受け付け、回答を講師より頂戴している。 【講演内容 「自治体DXと、どう向き合うか？」】 ・自治体DXの意味・意義 ・職員の向き合い方	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	DX意識の醸成を目的とした講演であったため、現時点で改善・解決された事項を確認することは困難であるが、今後実施予定の組織サーベイにより、職員の意識の変化を数値化し、本件支援の成果を把握していきたい。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	④人材育成のカリキュラムやツールを策定できた
	匿名の質問に対する、講師回答 研修資料	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	なし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 組織文化・風土の棚卸のために組織サーベイを行う予定としており、その際にDX意識の情勢が図られているのかを併せて調査する想定であるため。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
	組織文化・風土の棚卸のために組織サーベイを行う予定。これを定期的にも実施して数値化することにより、職員の意識の変化を見える化する。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	挑戦・改革を善しとする職場である。 職員全員が、改革の担い手であることを認識している職場である。	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

